

三菱UFJフィナンシャル・グループ
株主の皆さまへ

第4期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)



Quality for You 
MUFG



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成20年度の業績および中期経営計画などをご説明いたします。

平成20年度の業績

平成20年度の連結当期純利益は、前年度比約8,900億円減少し、2,569億円の赤字となりました。これは、内外経済・金融市場の混乱に伴い業務粗利益が減少したこと、株式相場の大幅な下落により保有株式の減損が発生したこと、世界的な景気減速に伴い与信関係費用が増加したことなどが主な要因です。

このような業績を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、平成20年度の普通株式期末配当を期初予想比2円減額し5円(年間配当12円)といたしました。また、平成20年度の役員賞与の支給を見送り、平成21年度の役員報酬および従業員賞与につきましても減額することといたしました。

一方、貸出は国内外で順調に増加しました。預金は為替要因等から海外店預金が減少しましたが、国内では個人、法人とも堅調に伸びております。また、MUFGの強みである海外業務は、経済成長が続くアジアのみならず、欧米でも順調に拡大しております。

財務健全性の観点では、普通株式の公募増資などの資本増強に努めた結果、連結自己資本比率は11.77%となりました。不良債権比率も1.24%と低水準にとどまっており、引き続き健全な財務基盤を維持しております。

中期経営計画の基本方針

当社では、厳しい経営環境を踏まえ、経営課題とその対応策をとりまとめた中期経営計画を策定し、平成21年4月からスタートさせています。予想される外部環境に応じて、平成21年度から平成23年度の3年間で2つに分けて取り組んでまいります。

前半は厳しい環境が続くと見込まれますが、健全性を維持し、社会的責任である金融仲介機能をしっかりと果たしていけるよう、徹底した経営効率化と自己資本の質を重視した経営に努めてまいります。

後半は、景気の回復も視野に入れ、さらなる利益成長と株主還元の充実を図ります。健全な資本基盤をベースに、既存の出資案件を含む重点事業領域の収益を着実に伸ばしてまいります。中期経営計画の概要につきましては、6ページをご覧ください。

内部管理態勢の強化

三菱UFJ証券における顧客情報不正流出などに関し、株主の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。グループ発足以来、内部管理態勢の強化に注力してまいりましたが、今一度グループ全体の管理態勢を見直し、一層の改善に向け努力してまいります。

今後とも、企業価値向上に向けて役職員一同、力を合わせて邁進してまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、ますますご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成21年6月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

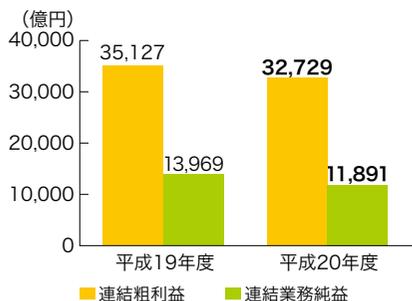
取締役社長

畔柳信雄

決算のポイント

- 連結当期純利益は、株式等関係損益の悪化や与信関係費用の増加を主因に、前年度比8,935億円減少の2,569億円の赤字
- 貸出金は、国内外法人貸出の増加により、前年度末比3.5兆円増加。預金は、海外店預金の減少により前年度末比1.1兆円減少したものの、国内店預金は個人、法人とも増加
- 連結自己資本比率は、前年度末比0.57ポイント上昇の11.77%

連結粗利益・連結業務純益



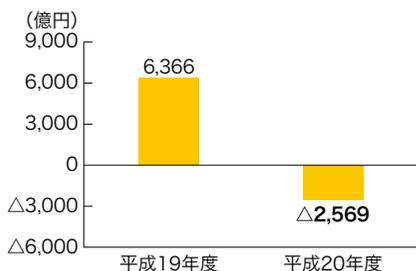
■損益の状況

連結粗利益は、内外経済・金融市場の混乱に伴う手数料収入の減少や証券化商品関連損失等から、前年度比2,398億円減少し、3兆2,729億円となりました。

営業費は、システム統合関連費用が増加しましたが、その他経費の削減により、全体では320億円減少の2兆837億円となりました。この結果、連結業務純益は前年度比2,077億円減少の1兆1,891億円となりました。

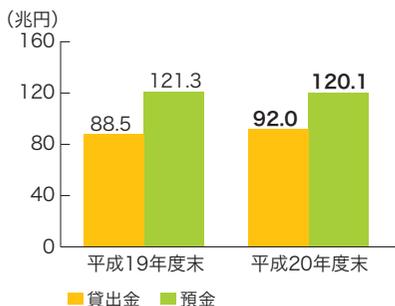
連結当期純利益は、株式相場の大幅な下落により株式等関係損益が前年度比3,839億円悪化し4,087億円の損失となったことに加えて、世界的な景気減速に伴いお取引先企業の業績が悪化したことにより与信関係費用が前年度比3,068億円悪化の6,084億円となった結果、前年度比8,935億円減少し、2,569億円の赤字となりました。

連結当期純利益(損失)



(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

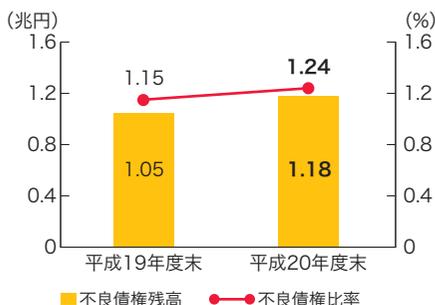
貸出金・預金



貸出金・預金の状況

貸出金は、国内外法人貸出の増加やアコムの新規連結を主因に、前年度末比3.5兆円増加し、92.0兆円となりました。預金は、為替要因等から海外店預金が減少し、前年度末比1.1兆円減少の120.1兆円となりましたが、国内店預金は個人、法人とも増加しています。

不良債権残高・比率

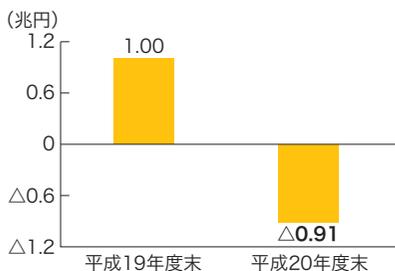


不良債権残高・比率の状況

不良債権残高*は、前年度末比0.13兆円増加の1.18兆円、不良債権比率*は前年度末比0.09ポイント上昇の1.24%となりましたが、引き続き低水準を維持しています。

*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の単体合算

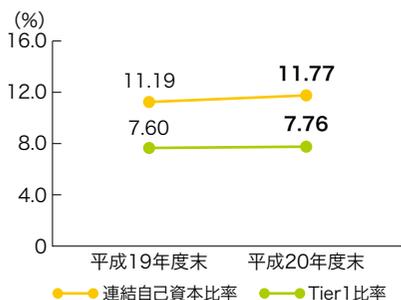
有価証券の含み損益



有価証券含み損益の状況

株式相場の大幅な下落を受け、国内株式が含み損に転じた結果、有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は、前年度末比約1.92兆円減少し、0.91兆円の含み損となりました。

連結自己資本比率



■連結自己資本比率の状況

連結自己資本比率は、前年度末比0.57ポイント上昇し11.77%となりました。Tier1比率も同0.16ポイント上昇し7.76%となりました。平成20年度下期に実施した普通株式の公募増資や劣後調達などの資本増強により自己資本の減少が小幅にとどまったことや、先進的内部格付手法(AIRB)の採用などによるリスクアセットの減少によるものです。

平成20年度決算に関するQ&A

Q. 市場価格のある株式の減損処理について教えてください。

A. 当社および国内連結子会社は、市場価格のある保有株式の時価が取得原価に比べて著しく下落し、回復する見込みがないと判断した銘柄については、期末時点の時価まで評価額を引き下げ、差額を損失とする経理処理(減損処理)を行っています。

平成20年度決算では、株式相場の大幅下落を受け、保有株式等の減損処理により株式等償却4,795億円を計上しました。その結果、株式等関係損益が前年度比3,839億円悪化の4,087億円の損失となり、当期決算が赤字となった主な要因のひとつとなりました。

Q. 米国低所得者向け不動産貸出(サブプライムローン)関連商品をはじめとする証券化商品等への投資状況を教えてください。

A. 平成21年3月末の証券化商品等への投資残高は、売却・減損処理などを進めたことから、平成20年3月末比1.03兆円減少の2.29兆円となりました。評価損は3,840億円となり、平成20年3月末比660億円増加しました。また、平成20年度の損益は、住宅ローン証券化商品等の売却損や価格下落に伴う減損処理を中心に2,670億円の損失となりました。

損益の状況(連結)

(単位：億円)

	平成19年度	平成20年度
連結粗利益(信託勘定償却前)	35,127	32,729
うち資金利益	18,420	19,759
うち役員取引等利益	10,735	9,700
営業費	21,158	20,837
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	13,969	11,891
臨時損益(△は費用)	△ 4,088	△ 11,466
うち与信関係費用	△ 3,447	△ 6,487
うち株式等関係損益	△ 248	△ 4,087
経常利益	10,290	828
特別損益(△は損失)	△ 81	322
うち償却債権取立益	398	382
うち子会社株式売却益	160	324
うち減損損失	△ 147	△ 158
うちシステム統合に係る費用	-	△ 839
法人税等+法人税等調整額	3,012	3,019
少数株主利益	830	700
連結当期純利益(△は損失)	6,366	△ 2,569
与信関係費用総額(△は費用) (信託勘定償却+一般貸倒引当金繰入+与信関係費用 +偶発損失引当金戻入益(与信関連))	△ 3,016	△ 6,084

資産・負債の状況(連結)

(単位：億円)

	平成19年度末	平成20年度末
資産の部	1,929,931	1,987,339
うち貸出金	885,388	920,568
うち有価証券	408,516	483,141
負債の部	1,833,934	1,901,632
うち預金	1,213,073	1,201,495
純資産の部	95,997	85,706

連結自己資本比率の状況(第一基準)

(単位：億円)

	平成19年度末	平成20年度末
自己資本比率	11.19%	11.77%
Tier1 比率	7.60%	7.76%
自己資本	122,158	114,784
Tier1	82,937	75,751
総所要自己資本額	87,260	77,994

中期経営計画の概要

足元の厳しい外部環境を踏まえ、対処すべき課題とその対応策を中期経営計画(平成21年度～平成23年度)としてとりまとめました。計画期間の3年間で、予想される環境の変化にあわせ、2つに分けて運営する方針です。

【前半】

前半は厳しい環境が続くと見込まれますが、健全性を維持し、社会的責任である金融仲介機能をしっかりと果たしていけるよう、徹底した経営効率化と自己資本の質を重視した経営に努めます。具体的には以下の重点課題を中心に取り組んでいきます。

- ◇業務効率化・本部組織簡素化による本部人員の削減と営業現場・戦略分野への投入。経費構造改革による諸経費の大幅削減。
- ◇自己資本の質を重視した資本運営。連結Tier1比率8%・連結自己資本比率12%の早期達成に加え、連結コアTier1比率*4%超の維持。
- ◇政策投資株式の削減。お取引先全体に対しご相談をし、お取引先のご理解を得た上で、日本銀行・銀行等保有株式取得機構も活用して実施。

*Tier1から優先株式・優先出資証券・繰延税金資産純額を控除し、リスクアセットで除した比率。平成20年度末は4.53%。

【後半】

後半は、景気の回復も視野に入れ、さらなる利益成長と株主還元の充実を図ります。健全な資本基盤をベースに、既存の出資案件を含む重点事業領域の収益を着実に伸ばしていきます。

【成長戦略】

計画期間を通じて、MUFGの強みであるグループ総合力を発揮し、リテール・法人・受託財産の主要3事業において、着実に成長戦略を推進します。モルガン・スタンレーとのグローバルな提携戦略の具体化を図り、企業金融・投資銀行業務などを強化するほか、成長期待の高いアジア関連ビジネスの拡大やグローバルな運用機関としてのプレゼンス向上などをめざします。

平成21年度～平成22年度半ば

- ◇経営効率化
- ◇自己資本の質を重視した資本運営
- ◇政策投資株式の削減
- ◇安定的株主還元の確保

平成22年度半ば～平成23年度

- ◇重点事業領域の成長促進
- ◇健全な自己資本の維持
- ◇株主還元の充実

モルガン・スタンレーとの日本における証券会社の統合について

平成21年3月、MUFGとモルガン・スタンレーは、MUFGの証券子会社である三菱UFJ証券と、モルガン・スタンレーの日本法人であるモルガン・スタンレー証券の統合に関する覚書を締結しました。新会社への出資比率は、MUFGが60%、モルガン・スタンレーが40%とし、当局の認可を前提に、平成22年3月末までの統合をめざします。

平成20年10月の当社によるモルガン・スタンレーへの出資以降、両社間でグローバルな戦略的提携関係の具体化について検討を進めてきましたが、本統合はその第一歩となります。

統合後の新会社は、MUFGとモルガン・スタンレーそれぞれのネットワークを活用し、国内外のお客さまの高度化・多様化する金融ニーズに的確・迅速にお応えしていきます。



カードローン「バンクイック」テレビCM放映スタート

三菱東京UFJ銀行は、平成21年4月からカードローン「バンクイック」のテレビCMの放映を開始しました。

ドラマ仕立てのCMには、俳優の阿部寛さん、戸田恵梨香さんが出演しています。

「バンクイック」はインターネット・電話・FAXなどで申し込みができるほか、同行のATMをはじめ、コンビニATM(セブン銀行ATM、ローソンATM、E-net ATM)で借入れ・返済ができる便利で身近なカードローンです。平成21年1月からは、携帯電話からの申込受付を開始し、6月には同行のATMコーナーなどにある「テレビ窓口」でも申し込みができるようになりました。

三菱東京UFJ銀行では、今後もお客さまの資金ニーズに幅広くお応えできるような商品・サービスの拡充に取り組んでいきます。



「第6回 Business Link 商賈繁盛 at MAKUHARI MESSE」開催

MUFGグループは、平成21年2月、千葉県の幕張メッセで大規模な商談会「第6回 Business Link 商賈繁盛 at MAKUHARI MESSE」を開催しました。

当日は、地域や企業規模、業種の枠を超えた約2,300社（約6,500名）のお客さまにご参加いただき、4,300件を超える商談が活発に行われました。6回目を迎えた今回は、新たに「環境」「食・農業」「グローバル」というテーマで、各種セミナーやブースの展示なども行いました。

今後も、MUFGグループの充実した国内外のネットワークを活かしてビジネスマッチング（お取引先のご紹介）に積極的に取り組み、お客さまの経営課題の解決や新たな事業展開をサポートしていきます。



三菱UFJリース「第4回 優良ESCO事業」で金融会社として初の金賞受賞

ESCO事業(Energy Service Company)とは、ビルや工場などの省エネルギーを一括して請け負い、技術・設備・資金などを包括的に提供し、経費と環境負荷の軽減に貢献するサービスです。

三菱UFJリースが手掛けた2件のESCO事業が、経済産業省資源エネルギー庁の委託を受けた財団法人省エネルギーセンターが主催する「第4回 優良ESCO事業」*において、それぞれ「金賞」と「銅賞」を受賞しました。「優良ESCO事業」の「金賞」は、金融会社として初の受賞となります。

同社は、300件超の実績を持つESCO事業のほか、排出権関連商品など、環境・省エネルギー分野において幅広いサービスを提供しています。

*省エネルギー性や事業の効果に優れ、今後のESCO事業の普及促進に資する事例を表彰する制度



海外向けキャッシュマネージメントサービス「GCMS Plus」がスタート

三菱東京UFJ銀行では、平成21年3月より、法人のお客さまを対象に、現行の機能をさらに拡張した海外向けキャッシュマネージメントサービス*「GCMS Plus」の提供を開始しました。

「GCMS Plus」では、利用頻度の高い操作画面を登録する機能や各国ごとの決済ルールに対応したメニューを新たに加えるなど、お客さまにとっての操作性や機能の向上を図りました。さらに最新の技術であるICカード(電子証明書)による利用者認証・取引認証方式を取り入れ、安全性も一層強化しました。

インドネシアのジャカルタ支店から取り扱いを開始し、順次、他の海外拠点への展開を予定しています。同行では、今後もお客さまのグローバルな資金管理ニーズに積極的にお応えしていきます。

*お客さまのパソコンで口座情報の照会や送金指図ができ、資金管理や決済事務の効率化を実現するサービス



三菱UFJ投信・国際投信投資顧問、 モーニングスター「Fund of the Year 2008」ファンド受賞

投資信託の評価機関であるモーニングスター社が運営体制や運用実績で優れたファンドを表彰するファンドオブザイヤーに、国内の追加型投資信託約2,000本のなかから、三菱UFJ投信・国際投信投資顧問が運用する3つのファンドが選ばれました。



三菱UFJ投信は、国内・国際債券型部門および国内・国際ハイブリッド型部門(国内外の債券や株式など複数の資産へ投資)で、類似ファンド平均を上回る運用実績と運用チームの総合力が評価され、それぞれ優秀ファンド賞を受賞しました。

国際投信投資顧問は、国内・国際債券型部門で、類似ファンド平均を上回る運用実績や充実した情報開示などが評価され、最優秀ファンド賞を受賞しました。

両社では、今後もお客さまの多様なニーズと信頼にお応えしていきます。

三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司 北京支店

北京

中華人民共和国の首都、北京市。日本と同じように四季があり、季節の変化がはっきりとした都市です。

北京の歴史は古く、世界遺産である「故宮」「万里の長城」「天壇公園」「頤和園」「周口店の北京原人遺跡」など、数え切れないほどの貴重な名所や旧跡が今も残っています。

一方、平成20年の北京オリンピック開催に見られるように、近代的な国際都市でもあります。



万里の長城「八達嶺」



京劇の舞台で活躍する
当行スタッフ

拠点紹介

三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司北京支店は、昭和55年に外資商業銀行初の駐在員事務所として開業しました。以来、日系企業の中国への進出支援や中国地場企業への融資などを行ってきました。当初20名だった行員も現在では181名となり、中国経済と共に成長してきた拠点です。

製造業や商社などの大企業の中国統括拠点や、山東省沿岸部にある食品・繊維関係の製造現地法人など、約500社の日系企業に加え、中国・欧米系の優良企業とも取引をしています。

経済成長が著しいなか、各種行政上の規制も多い中国において、お取引先のさまざまなニーズにお応えしながら、お客さまの事業展開を積極的に支援しています。

また、社会貢献活動にも力を入れており、四川地震災害への寄付や、北京市周辺で進む砂漠化防止の植林事業への参加など、社会問題や環境問題に積極的に取り組んでいます。



植林活動

前門大街



三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司 北京支店外観

北京からの現地レポート
訪問するならココ!

故宮「乾清宮」



「故宮」は、かつては「紫禁城」と呼ばれ、明や清朝の皇帝が居住する王宮でした。現在では故宮博物院として一般に公開されています。南北に約960m、東西に約750m、面積は約72万5,000m²もあり、現存する木造建築物としては世界最大規模です。

そのなかにある「乾清宮」は皇帝の居住空間であり、日常の政務を行う場所でもありました。家臣や外国使節との接見なども、ここで行われていました。



近年、北京では歴史的建造物を見直す気運が高まっており、天安門の南に面した前門大街は、平成20年に歴史上5回目となる修復を終えました。「牌楼」と呼ばれる鳥居形の建造物は、古い北京独特の景観を形づくっています。

昭和33年に取り壊された「五牌楼」や運行が停止されていた「当当車(チンチン電車)」も復活し、また「都一処(焼売の老舗)」「全聚徳(北京ダックの老舗)」「瑞蚨祥(シルク生地 of チャイナドレスを仕立てる名店)」など北京特有の伝統的な名店が営業を再開するなど、前門大街はにぎやかな大通りとなっています。

都一処

北京の人々は、餡入りのものが大好きで、特に、中身に米やもち米などの穀物を入れる焼売が好まれています。

前門大街にある焼売の名店「都一処」は、1738年に創業した270年の歴史を持つ老舗で、乾隆皇帝が都一処という名前をつけ、看板に直筆で店名を書き残したといわれています。



MUFGグループは、社会貢献活動の重点分野のひとつとして、「次世代社会の担い手育成」に取り組んでいます。その一例をご紹介します。

卒業記念サッカー大会「第2回 MUFG カップ」開催

MUFGグループは社会貢献活動の一環として、平成21年1月から3月にかけて、小学生サッカー大会を東京、愛知、大阪各地で開催しました。

この大会は、卒業間近の小学6年生を対象に、チームメイトとの小学校時代の最後の思い出づくりになるようにと企画しているものです。

大会には、あわせて88チーム1,721名の小学生が参加。子どもたちを激励するため、元Jリーガーが駆けつけ、グループ社員約110名もボランティアとして参加しました。

参加した子どもたちからは「小学生最後の試合をみんなで楽しめて本当に良かった」など、喜びの声が寄せられました。



MUFGグループ各社では、地域の皆さまへの感謝の気持ちを込め、地域社会の一員として各営業拠点が自主的にさまざまな社会貢献活動を行っています。三菱東京UFJ銀行では、平成21年4月、活動内容のいくつかをご紹介します小冊子「いつものまちに、ありがとう。」を発刊しました。その一部をご紹介します。



鎌倉エリア活動紹介

鎌倉支店では近隣の6つの支店・支社と協力して、「鎌倉を美しくする会」（鎌倉市の美化に取り組むボランティア団体）の皆さまと一緒に、花火大会や若宮大路の清掃活動に参加しました。

また、七夕とクリスマスの時季には児童養護施設「鎌倉児童ホーム」を訪問し、子どもたちとの交流を深めています。



昭島支店活動紹介

昭島支店では、視覚障害のある方の健康マラソンでのサポート活動や、日頃忙しいお母さん方に代わって母子家庭の子どもたちを昭和記念公園に引率する活動を行っています。

また、お客さまが読み終わった本を支店で集め、地元の小中学校に寄付するなど、社員だけでなく、お客さまと共に行う地域貢献活動も始めています。



定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL : http://www.mufg.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所	
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先・ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-7111 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00) 一 三菱UFJ信託銀行の本支店でお手続きできます。一

株券電子化実施に伴うお知らせ

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
- 特別口座(注)に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

(注)「特別口座」とは、株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、平成21年1月の株券電子化制度への移行時に、株主の権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。所有される株式が特別口座に記録された株主さまへは、平成21年2月13日付で「特別口座開設のお知らせ」をお送りし、特別口座に記録された株式数を通知しております。

取締役・監査役／大株主

取締役・監査役(平成21年6月26日現在)

取締役会長 (代表取締役)	たまごし りょうすけ 玉越 良介	取締役	やすだ しんたろう 安田 新太郎	取締役*	はらだ あきお 原田 明夫
取締役副会長 (代表取締役)	うえはら はるや 上原 治也	取締役	ながやす かつり 永易 克典	取締役*	あらき りゅうじ 荒木 隆司
取締役社長 (代表取締役)	くるやなぎ のぶお 畔柳 信雄	取締役	あきさき ふみゆき 秋草 史幸	取締役*	おおとし たくま 大歳 卓麻
取締役副社長 (代表取締役)	おおもり きょうた 大森 京太	取締役	たけうち かずお 竹内 和男	常勤監査役	やすだ しょうた 安田 正太
専務取締役 (代表取締役)	さの さぶろう 佐野 三郎	取締役	おかうち きんや 岡内 欣也	常勤監査役	まえだ てつお 前田 哲男
専務取締役 (代表取締役)	さいとう ひろし 斎藤 広志	取締役	わち かおる 和地 薫	監査役**	たかすか つとむ 高須賀 昴
専務取締役 (代表取締役)	かめい のぶしげ 亀井 信重	取締役	おやまだ たかし 小山田 隆	監査役**	おかもと くにえ 岡本 圀衛
				監査役**	いけだ やすし 池田 靖

* 原田 明夫、荒木 隆司、大歳 卓麻の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

** 高須賀 昴、岡本 圀衛、池田 靖の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

大株主(普通株式 平成21年3月31日現在)

	持株数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	671,885,900	5.76
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 4G)	635,316,500	5.45
3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	489,585,800	4.20
4 日本生命保険相互会社	285,603,153	2.45
5 ザバンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ	263,905,468	2.26
6 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.50
7 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.28
8 明治安田生命保険相互会社	139,185,671	1.19
9 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	129,374,761	1.11
10 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (三菱重工株式会社口・退職給付信託口)	120,914,991	1.03
合計	3,060,035,397	26.27
発行済株式総数	11,648,360,720	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. ザバンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人です。

MUFG 株主セミナー 開催のお知らせ

日頃ご支援いただいております株主の皆さまを対象に、「MUFG 株主セミナー」を開催いたします。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

開催概要

開催日時	第1回 平成21年 9月2日(水) 13:30~16:30頃 第2回 平成21年 9月3日(木) 13:30~16:30頃
開催場所	三菱東京UFJ銀行ディーリングルームほか (東京都千代田区丸の内)
内容	【第一部】 為替相場セミナー (為替相場の動きや見通しなどをアナリストが解説いたします) 【第二部】 ディーリングルーム見学 (ディーラーが取引を行う現場をご覧いただけます)
募集対象者	平成21年3月末時点で当社株式を100株以上お持ちの株主さま (ご同伴者1名さままで可)
募集人数	各回100名さま(ご同伴者含む)



応募要領

応募方法 同封の「MUFG 株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

ご記入要領

- ご希望日をご選択ください(いずれか一方をお選びください)。
- 株主さまのご住所、お名前、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名の下段8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者がある場合、その方のご住所、お名前をご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

締め切り 平成21年7月17日(金)消印有効

応募多数の場合、抽選といたしますのであらかじめご了承ください。
厳正な抽選の上、当選された株主さまには平成21年8月中旬頃にご招待状をお送りいたします。

(ご注意)

- 当日の受付時刻および集合場所等の詳細につきましては、当選された株主さまに別途ご案内いたします。
- 参加費は無料ですが、開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただけます。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる可能性がございます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主セミナー係
電話：03(3240)8111(代)

「2009 株主特典ピーターラビット™ オリジナルグッズ」 申込受付終了のお知らせ

「2009 株主特典ピーターラビット™オリジナルグッズ」のお申込受付は、平成21年1月末日をもって終了いたしました。多くの株主さまからご応募いただき、誠にありがとうございました。

なお、「ご優待クーポン券」は平成21年12月30日までご利用いただけます。詳細は平成20年12月にお送りいたしました「ご優待サービスご利用ガイド2009」をご確認くださいませようお願い申し上げます。

平成21年優待制度の対象株主さま：平成20年9月30日時点の当社株主名簿(または実質株主名簿)に、100株以上保有と記載された株主さま

ご優待基準日：毎年9月30日の年1回

株主さまのご不在・住所不明等の理由により当社に返送されました優待グッズの保管期限は、平成21年9月30日までとなります。ご了承のほどお願い申し上げます。

当社ホームページが IRサイトランキングで連続上位入賞

当社ホームページは、大和インベスター・リレーションズ株式会社の「インターネットIR・ベスト企業賞」を3年連続で受賞しました。またゴメス・コンサルティング株式会社からは「IRサイト総合ランキング・ベスト20企業」に選出されました。今後も使いやすいホームページをめざしていきます。



大和インベスター・リレーションズ(株)の
「インターネットIR・ベスト企業賞」



ゴメス・コンサルティング(株)の
「IRサイト総合ランキング・ベスト20企業」

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1
電話03(3240)8111(代表)
URL:<http://www.mufig.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
Tel:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)